

**JIS K 5658**  
建築用耐候性上塗り塗料 2級※

ファインシリコンフレッシュ  
(つや有り)

本商品には当社工場にて製造、もしくは調色したJIS表示品(JIS K 5658)と店頭調色していただく為のJIS非表示品があります。JIS表示が必要な場合はご注文時にその旨をご指示ください。なお、JIS K 5658表示対象品はつや有りのみとなります。

**JIS A 6909** 建築用仕上塗材※

可とう形改修塗材E/RE、  
複層塗材E/RE/Si  
防水形複層塗材E/RE 上塗材 耐候形1種  
ファインシリコンフレッシュ

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

※「高弾性ファインシリコンフレッシュ」は除く

超低汚染形ターペン2液形アクリルシリコン樹脂塗料

ニッペ **ファインシリコンフレッシュ**® シリーズ

**FINE SILICONE FRESH SERIES**

- | ファインシリコンフレッシュ
- | 高弾性ファインシリコンフレッシュ
- | ファインシリコンフレッシュクリヤー

高耐候性・超低汚染性・使い易さ・・・三拍子揃った新世代塗料の誕生です。

**F I N E  
S I L I C O N E  
F R E S H  
S E R I E S**

**F I N E  
S I L I C O N E  
F R E S H  
S E R I E S**

扱いやすく、環境にも低負荷の「弱溶剤塗料」  
高耐候性を実現する「シリコン樹脂塗料」  
日々これらに対する信頼とニーズが高まってまいりました。  
ここに更に、親水化技術による「超低汚染性」を付与し、  
「ファインシリコンフレッシュシリーズ」は誕生しました。

外壁、鉄部、付帯部などの塗装に、新設・塗り替えを問わず最適です。  
「ファインシリコンフレッシュシリーズ」は幅広くご使用いただけます。

超低汚染形ターペン2液形アクリルシリコン樹脂塗料

ニッペ

**ファインシリコンフレッシュ®シリーズ 8つの特長**

1

### 高耐候性

強固なシロキサン結合によって  
架橋するため、光沢低下や変色が  
極めて少なく高耐候性を発揮します。

5

### 抜群の作業性・多目的用途

塗装時の発泡がなく、抜群の塗りやすさです。  
素速く乾燥するので、冬場の施工にも安心です。  
また、各種外壁(サイディングボード・モルタルなど)、  
鉄部、FRP、硬質塩ビ部等の新設、塗り替えに  
幅広く適用できます。

2

### 超低汚染性

特殊セラミック成分による  
親水化技術がすぐれた低汚染性を  
実現します。

6

### 防藻・防かび性

藻・かびの発生を抑制します。

3

### ターペン可溶

弱溶剤系であるため臭気が  
マイルドで、さまざまな下地に塗装できます。

7

### 透湿性

透湿性が高いため結露から建物をまもりませす。

4

### 充実のシリーズ・多彩な仕様

硬化剤を高弾性タイプに替えるだけで  
「高弾性ファインシリコンフレッシュ」  
として使用できます。  
様々な高弾性仕様に対応可能です。  
また、「ファインシリコンフレッシュクリヤー」  
によって、コンクリート打放し面  
保護塗装工法が可能です。

8

### 環境にやさしい

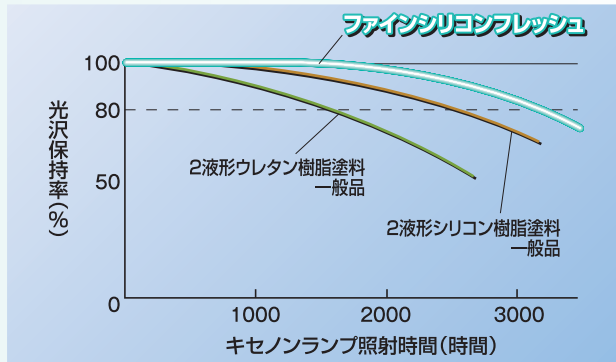
鉛などの重金属を配合していません。  
もちろん、ホルムアルデヒド・  
クロルピリホスも配合していません。

# 高耐候性 ～劣化促進機による試験～

## 耐候性試験B法 (JIS A 6909 複層仕上塗材の耐候形品質)

劣化促進機「ウェザーメーター(キセノンランプ)」の照射時間に対する光沢の保持率により耐候性の分類をしています。光沢保持率80%以上が2500時間以上のものを「耐候形1種」、1200時間以上のものを「耐候形2種」、600時間以上のものを「耐候形3種」としています。ファインシリコンフレッシュは「耐候形1種」の基準を上回る結果を示し、特に耐候性にすぐれた塗料といえます。

【高耐候性比較データ】



# 超低汚染性 ～雨垂れ暴露促進試験による汚染性試験～

## 雨垂れ暴露促進試験による汚染性試験

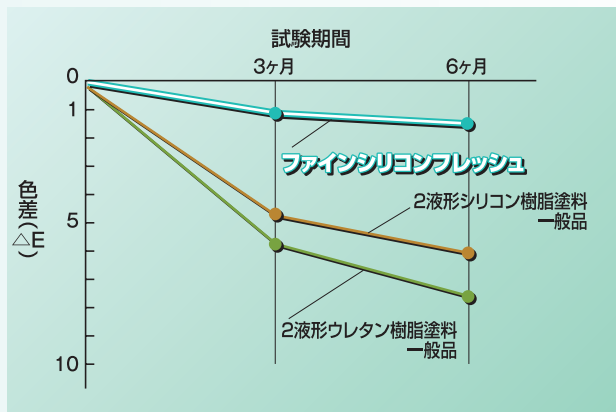
屋外にて塗板を暴露し、雨筋状のよごれのつく程度を目視により測定します。試験開始6ヶ月後では、非低汚染形塗料と比べて雨筋状のよごれが少ないことがわかります。

### ■低汚染のメカニズム

雨垂れによる汚染などを防止するためには、塗膜表面が水になじむような性質であることが重要です。カーボンなどの汚染物質には油の性質があり、塗膜表面も水をはじくような油の性質(親油性)を持っていると、汚染物質が表面に付着しやすくなります。しかし塗膜表面に水になじむような性質(親水性)があると、油の性質の汚染物質は付着しにくく、降雨時の雨水が汚染物質と一緒に流してしまいます。



【超低汚染性比較データ】



※ΔEの数値が小さいほど、耐汚染性にすぐれていることを示しています。  
※建物の構造によっては低汚染性が発揮されにくい場合があります。

## 実用性能比較

比較項目	ファインシリコンフレッシュ (超低汚染形ターペン(弱溶剤) 2液形アクリルシリコン樹脂塗料)	非低汚染形 強溶剤 2液形シリコン樹脂塗料一般品	非低汚染形 弱溶剤 2液形ウレタン樹脂塗料一般品
塗 装 作 業 性	○	△	○
付 着 性	○	○	○
鏡面光沢度(60度)	80	85	80
ポットライフ(23℃)	6時間	8時間	10時間
耐 候 性	○	○	△
耐 アルカリ性	○	○	○
耐 酸 性	○	○	△
防 藻 性	○	○	○
防 か び 性	○	○	○
透 湿 性	○	○	○
低 汚 染 性	○	△	△
臭 気	△(弱溶剤)	×(強溶剤)	△(弱溶剤)

※社内データによる

## ●標準塗装仕様(塗り替えの場合)

### ●各種外壁 吹き付けタイル・サイディングボードなどのトップコートの塗り替え※1

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修処理	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果にもとづいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	ほこり、よごれを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する。						
上塗り	ニッペファインシリコンフレッシュ	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用 シンナーA	0~10 5~10	ウールローラー エアレススプレー

※1 サイディングボードなどの塗り替えで、下地・旧塗膜の劣化が著しい場合には、付着不良などの不具合を生じる場合がありますので、下塗りに「ニッペファイン浸透シーラー」を塗装してください。

### ●各種外壁 旧塗膜が高弾性塗膜などのトップコートの塗り替え※2

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修処理	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果にもとづいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	ほこり、よごれを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する。						
上塗り	ニッペ高弾性ファインシリコンフレッシュ <sup>㊟</sup>	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用 シンナーA	0~10	はけ・ウールローラー

※2 下地・旧塗膜の劣化が著しい場合には、付着不良などの不具合を生じる場合がありますので、下塗りに「ニッペファイン浸透シーラー」を塗装してください。

### ●コンクリート・モルタル面 微弾性フィラーを用いた塗り替え(JIS A 6909 可とう形改修塗材E)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修処理	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果にもとづいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	ほこり、よごれを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する。						
下塗り	ニッペパーフェクトフィラー (水性反応硬化形ソフトフィラー)	1	0.50~0.90	4時間以上	水道水	1~5 2~5	砂骨ローラー タイルガン
上塗り	ニッペファインシリコンフレッシュ	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用 シンナーA	0~10 5~10	ウールローラー エアレススプレー

※上記ニッペパーフェクトフィラーをローラー施工する際に、高温時や風が強い場合などの乾燥が速まるような条件下では、希釈率を上限値の範囲内で調整することをご推奨致します。  
(作業性や仕上がりの向上をさらに図ることができます。)

### ●コンクリート・モルタル面 下地の模様を生かした塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修処理	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果にもとづいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	ほこり、よごれを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する。						
下塗り	ニッペパーフェクトサーフ (外壁改修用高外観サフェーサー)	1	0.20~0.40	3時間以上	水道水	2~5	ウールローラー
上塗り	ニッペファインシリコンフレッシュ	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用 シンナーA	0~10 5~10	ウールローラー エアレススプレー

### ●コンクリート・モルタル面 弾性フィラーを用いた塗り替え(JIS A 6909 可とう形改修塗材RE)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修処理	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果にもとづいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	ほこり、よごれを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する。						
下塗り	ニッペDANフィラーエポ (可とう形改修塗材・防水形複層塗材)	1	0.80~1.30	4時間以上	水道水	0~3	砂骨ローラー
上塗り	ニッペファインシリコンフレッシュ <sup>㊟</sup>	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用 シンナーA	0~10 5~10	ウールローラー エアレススプレー

### ●コンクリート・モルタル面 弾性フィラーを用いた高防水仕様仕様の塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修処理	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果にもとづいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	ほこり、よごれを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する。						
中塗り① (下塗り)	ニッペDANフィラーエポ (可とう形改修塗材・防水形複層塗材)	1	0.80~1.30	4時間以上	水道水	0~3	砂骨ローラー
中塗り②	ニッペDANフィラーエポ (可とう形改修塗材・防水形複層塗材)	1	0.80~1.30	16時間以上	水道水	0~3	砂骨ローラー
上塗り	ニッペファインシリコンフレッシュ <sup>㊟</sup>	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用 シンナーA	0~10 5~10	ウールローラー エアレススプレー

㊟つや有りのみ適用可能です。つや調整品は十分な弾性機能が得られないため適用は避けてください。

## ●標準塗装仕様(塗り替えの場合)

### ●一般鉄部、金属素地系 アルミカーテンウォール

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地改修処理	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め入念に除去する。さびは電動工具や、サンドペーパー・研磨布などを用いて除去し、清掃する。						
下塗り <sup>※3</sup>	ハイボンファインプライマーⅡ(弱溶剤形2液エポキシさび止め塗料)	1	0.16~0.18	4時間以上 7日以内 <sup>※4</sup>	塗料用シンナーA	0~10 0~5	はけ・ウールローラー エアレススプレー
上塗り	ニッペファインシリコンフレッシュ	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用シンナーA	0~10 5~10	ウールローラー エアレススプレー

※3 一般鉄部には上記のさび止め塗料以外に、ハイボン20デクロ、1液ハイボンファインデクロ、速乾シアナミドヘルゴン下塗、速乾PZヘルゴンエコ、パーフェクトプライマーも使用できます。  
 ※3 さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している箇所を塗装する場合、入念なケレン後、下塗り塗料(さび止め塗料)で部分補修塗りをしてから下塗りしてください。

### ●硬質塩化ビニール、FRP部

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め入念に除去する。さびは電動工具や、サンドペーパー・研磨布などを用いて除去し、清掃する。						
上塗り	ニッペファインシリコンフレッシュ	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用シンナーA	0~10 5~10	はけ・ローラー エアレススプレー

### ●FRP貯水槽外面遮光塗装システム(FRP部、鉄部および亜鉛メッキ部)

貯水槽内部への太陽光の侵入を抑制し、光合成による藻の増加を抑えることができます。(詳しくは専用のカタログをご覧ください)

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め入念に除去する。さびは電動工具や、サンドペーパー・研磨布などを用いて除去し、清掃する。						
下塗り <sup>※5</sup>	ハイボンファインプライマーⅡ(弱溶剤形2液エポキシさび止め塗料)	1	0.16~0.18	4時間以上 7日以内 <sup>※4</sup>	塗料用シンナーA	0~10 0~5	はけ・ウールローラー エアレススプレー
上塗り	ニッペファインシリコンフレッシュ	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用シンナーA	0~10 5~10	ウールローラー エアレススプレー

※4 夏場(高温下)では、硬化反応が著しく速まるため、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。塗り重ね時間を過ぎると、上塗りとの密着性が悪くなります。その場合は、再度下塗りを塗装するか、ペーパーをかけるなどしてください。

※5 遮光塗装システムの場合、必ず下塗りを塗装してください。下塗りを塗装しなかった場合、遮光性能が十分に発揮されない場合があります。

## ●標準塗装仕様(新設の場合)

### ●コンクリート面 平滑仕上げ

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペファイン浸透シーラー(ターベン可溶2液形エポキシ樹脂下塗り材)	1~2 <sup>※6</sup>	0.16~0.20	3時間以上 7日以内 <sup>※7</sup>	無希釈	-	ウールローラー エアレススプレー
上塗り	ニッペファインシリコンフレッシュ	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用シンナーA	0~10 5~10	ウールローラー エアレススプレー

※上記下塗り以外に、浸透性シーラー(新)も使用できます。

### ●コンクリート面 吹付けタイル仕上げ(JIS A 6909 複層塗材RE)

⑤主材の使用量は塗り回数1~2回で使用するトータル量です。

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペファイン浸透シーラー(ターベン可溶2液形エポキシ樹脂下塗り材)	1~2 <sup>※6</sup>	0.16~0.20	3時間以上 7日以内 <sup>※7</sup>	無希釈	-	ウールローラー エアレススプレー
主材	ニッペタイルラック EPO-Sベース(水性エポキシ樹脂系複層塗材RE 主材)	1~2 <sup>⑤</sup>	1.40~2.00	16時間以上	水道水	1~3	タイルガン
上塗り	ニッペファインシリコンフレッシュ	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用シンナーA	0~10 5~10	ウールローラー エアレススプレー

※上記下塗り以外に、浸透性シーラー(新)、一液浸透シーラーも使用できます。

### ●コンクリート面 弾性凹凸仕上げ(JIS A 6909 防水形複層塗材E)

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペファイン浸透シーラー(ターベン可溶2液形エポキシ樹脂下塗り材)	1~2 <sup>※6</sup>	0.16~0.20	3時間以上 7日以内 <sup>※7</sup>	無希釈	-	ウールローラー エアレススプレー
中塗り①	ニッペDANタイル中塗(水性アクリルゴム系防水形複層塗材E主材)	1	1.40~1.80	4時間以上	水道水	5~8	タイルガン
中塗り② <sup>※8</sup>	ニッペDANタイル中塗(水性アクリルゴム系防水形複層塗材E主材)	1	0.80~1.20	16時間以上	水道水	1~3	タイルガン
上塗り	ニッペファインシリコンフレッシュ <sup>⑤</sup>	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用シンナーA	0~10 5~10	ウールローラー エアレススプレー

※上記下塗り以外に、浸透性シーラー(新)、一液浸透シーラーも使用できます。

※6 めくれ感が出るまでを目安にしてください。素地への吸い込み箇所がある場合はその部分を増し塗りしてください。

※7 夏場(高温下)では、硬化反応が著しく速まるため、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。塗り重ね時間を過ぎると、上塗りとの密着性が悪くなります。その場合は、再度下塗りを塗装するか、ペーパーをかけるなどしてください。

※8 ヘッド押さえ仕上げの場合、押さえ用ローラーに塗料用シンナーAを含ませて、中塗り2工程終了直後から30分の間に押さえてください。

⑤つや有りのみ適用可能です。つや調整品は十分な弾性機能が得られないため適用は避けてください。

## ●標準塗装仕様(新設の場合)

### ●コンクリート面 高弾性凹凸仕上げ (JIS A 6021 建築用塗膜防水材料上塗りとして適用できます。)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペ水性カチオンシーラー透明 (水性カチオンエポキシ複合形下塗り)	1	0.10~0.16	4時間以上	無希釈	-	はけ・ウールローラー
中塗り①	ニッペDANエクセル中塗りJ (水性アクリルゴム系高伸長形複層弾性塗料)	1	1.70~2.10	4時間以上	水道水	4~7	タイルガン
中塗り② <sup>※9</sup>	ニッペDANエクセル中塗りJ (水性アクリルゴム系高伸長形複層弾性塗料)	1	0.60~1.00	16時間以上	水道水	0~2	タイルガン
上塗り	ニッペ高弾性ファインシリコンフレッシュ <sup>㊦</sup>	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用シンナーA	0~10 5~10	はけ・ウールローラー エアレススプレー

※9 ヘッド押さえ仕上げの場合、押さえ用ローラーに塗料用シンナーAを含ませて、中塗り2工程終了直後から30分の間に押さえてください。

㊦つや有りのみ適用可能です。つや調整品は十分な弾性機能が得られないため適用は避けてください。

### ●一般鉄部

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	完全に付着したミルスケールは残すが、それ以外の不安定なミルスケール、さびは電動工具を用いて除去する。また、ほこり、よごれ、油脂分なども入念に除去する。						
下塗り <sup>※10</sup>	ハイボンファインプライマーII (弱溶剤2液形エポキシさび止め塗料)	1	0.16~0.18	4時間以上 <sup>※11</sup> 7日以内	塗料用シンナーA	0~10	はけ・ウールローラー
上塗り	ニッペファインシリコンフレッシュ	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用シンナーA	0~10 5~10	ウールローラー エアレススプレー

※10 一般鉄部には上記のさび止め塗料以外に、ハイボン20デクロ、1液ハイボンファインデクロ、速乾シアナミドヘルゴン下塗り、速乾PZヘルゴンエコ、パーフェクトプライマーも使用できます。

※10 さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している箇所を塗装する場合、入念なクレン後、下塗り塗料(さび止め塗料)で部分補修塗りをしてから下塗りしてください。

※11 夏場(高温下)では、硬化反応が著しく速まるため、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。塗り重ね時間を過ぎると、上塗りとの密着性が悪くなります。その場合は、再度下塗りを塗装するか、ペーパーをかけるなどしてください。

## ●標準塗装仕様(コンクリート打放し面 保護塗装工法)

### ●ファインブレスシステム(新設コンクリート打放し面 生地仕上げ)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	よごれ、ほこりなど付着物を除去し、乾燥した清浄な面とする。(一般の下地調整材による補修やサンダーがけは原則としてできません。)						
はっ水処理	ニッペファインブレスガード (弱溶剤形コンクリート生地仕上げ用はっ水剤)	1	0.16~0.20	16時間以上	無希釈	-	ウールローラー エアレススプレー
下塗り	ニッペファインブレスコート (弱溶剤形コンクリート生地肌仕上げ用中塗りクリヤー塗料)	1	0.12~0.15	4時間以上	塗料用シンナーA	30~40	エアスプレー <sup>※13</sup>
上塗り	ニッペファインシリコンフレッシュクリヤー <sup>※12</sup>	1	0.12~0.14	-	塗料用シンナーA	20~40	エアスプレー <sup>※13</sup>

### ●ファインブレスシステム(経年コンクリート打放し面・旧塗膜あり 生地仕上げ)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
水洗い	高圧洗浄し、浮き塗膜などは除去し、乾燥した清浄な面とする。						
中塗り <sup>※14</sup>	ニッペファインシリコンフレッシュクリヤーつや有り	1	0.12~0.14	4時間以上	塗料用シンナーA	20~40	エアスプレー <sup>※13</sup>
上塗り	ニッペファインシリコンフレッシュクリヤー <sup>※12</sup>	1	0.12~0.14	-	塗料用シンナーA	20~40	エアスプレー <sup>※13</sup>

※14 旧塗膜がはく離している部分には、はっ水処理と下塗り処理を事前に行なってください。

### ●ファインブレスシステム(経年コンクリート打放し面・旧塗膜なし 生地仕上げ)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
水洗い	高圧洗浄し、浮き塗膜などは除去し、乾燥した清浄な面とする。						
はっ水処理	ニッペファインブレスガード (弱溶剤形コンクリート生地仕上げ用はっ水剤)	1	0.16~0.20	16時間以上	無希釈	-	ウールローラー エアレススプレー
下塗り	ニッペファインブレスコート (弱溶剤形コンクリート生地肌仕上げ用中塗りクリヤー塗料)	1	0.12~0.15	4時間以上	塗料用シンナーA	30~40	エアスプレー <sup>※13</sup>
中塗り	ニッペファインシリコンフレッシュクリヤーつや有り	1	0.12~0.14	4時間以上	塗料用シンナーA	20~40	エアスプレー <sup>※13</sup>
上塗り	ニッペファインシリコンフレッシュクリヤー <sup>※12</sup>	1	0.12~0.14	-	塗料用シンナーA	20~40	エアスプレー <sup>※13</sup>

※12 つや調整品では、Pコン部分などで、タマリやダレなどができると、つや調整剤による白化状態が発生する場合がありますので、塗装時は十分ご注意ください。

※13 ニッペファインブレスコートやニッペファインシリコンフレッシュクリヤーをローラーにて塗装する場合、つやむら、つやの上昇が発生する場合がありますので、あらかじめ試験塗装を実施し、仕上りをご確認ください。その場合、ローラーは短毛ローラーにて塗装し、塗装時の希釈率は「0~10%」で塗装してください。(基本的にスプレーでの塗装をおすすめします。)

### 塗替え仕様について

経年した外壁の打ち放しコンクリート面は、新設時の打ち放しコンクリート面比べて雨水、炭酸ガスおよび紫外線などによりコンクリート表面は風化され、塗装下地はポーラス(多孔質)状態になっています。そのため塗料の吸い込みが著しく、下塗り(ニッペファインブレスコート)塗装仕上げ段階で白化状態になる場合があります。〔ニッペファインブレスコート〕には、濡れ肌防止のための特殊顔料が配合されており、含浸力の高い樹脂分が基材に吸いこまれて表面に特殊顔料だけが取り残され白化します。その場合、下塗り塗装後「ニッペファインシリコンフレッシュクリヤーつや有り」を塗り付け、白化状態がなくなるまで塗りこんでください。

●性能表 (社内データによる)

試験項目		規格	性能
低温安定性		塊がなく組成物の分離・凝集がないこと。	合格
初期乾燥によるひび割れ抵抗性		ひび割れがないこと。	合格
付着強さ N/mm <sup>2</sup>	標準状態	0.7以上 (複層塗材E/Si/防水形外装薄塗材E/可とう形改修塗材E)	合格
	浸水後	0.5以上 (複層塗材E/Si/防水形外装薄塗材E/可とう形改修塗材E)	合格
付着強さ N/mm <sup>2</sup>	標準状態	1.0以上 (複層塗材RE/防水形複層塗材RE/可とう形改修塗材RE)	合格
	浸水後	0.7以上 (複層塗材RE/防水形複層塗材RE/可とう形改修塗材RE)	合格
温冷繰返し		試験体の表面に、ひび割れ、はがれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がないこと。	合格
透水性B法(ml)		0.5以下	合格
耐衝撃性		ひび割れ、はがれ及び著しい変形がないこと。	合格
ひび割れ充てん性		基板の溝の部分に、塗膜のひび割れ及び穴がないこと。	合格
耐洗浄性		はがれ及び磨耗による基板の露出がないこと。	合格
耐候性A法		ひび割れ及びはがれがなく、変色の程度がグレースケール3号以上であること。	合格
ポットライフh		5時間で使用できるものとする。	6時間
可とう性		ひび割れがないこと。	合格
鏡面光沢度(60度)		70以上	80
耐疲労性		いずれの試験体も上塗材から主材層を貫通する穴及び破断がないこと。	合格
耐候性B法(耐候形1種)		照射時間2500時間で塗膜にひび割れ、はがれ及び膨れがなく、光沢保持率は80%以上で、変色の程度がグレースケール3号以上であり白亜化の等級が1以下であること。	合格
容器の中での状態		主剤・硬化剤ともかき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になるものとする。	合格
塗膜の外観		塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
防藻性		藻の発生が認められない。(社内試験)	合格
防かび性		試料又は、試験片の接種した部分に菌糸の発育が認められない。(JIS Z 2911)	合格

・製品安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

●用途

外部壁面、内外部鉄構造物など

●適用下地

コンクリート、セメントモルタル、PC板、ALCパネル、GRC板、セメント無機繊維板、鋼材など

●ポットライフ(23℃時)

塗料液/硬化剤=5/1(重量比)に混合後  
6時間

●荷姿

塗料名	色相	つや	容量	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	15kgセット 当たりの塗りm <sup>2</sup> (m <sup>2</sup> /回/缶)
ニッペ ファインシリコンフレッシュ	各色	つや有り 3.5・7分つや有り	15kgセット (塗料液 12.5kg) (硬化剤 2.5kg) 3kgセット (塗料液 2.5kg) (硬化剤 0.5kg) 「塗料液:硬化剤=5:1(重量比)」	0.12~0.14	107~125
ニッペ 高弾性ファインシリコンフレッシュ	各色	つや有り	15kgセット (塗料液 12.5kg) (硬化剤 2.5kg) 「塗料液:硬化剤=5:1(重量比)」	0.12~0.14	107~125
ニッペ ファインシリコンフレッシュクリアー	透明 カラークリアー	つや有り・つや消し 3.5分つや有り	15kgセット (塗料液 12.0kg) (硬化剤 3.0kg) 「塗料液:硬化剤=4:1(重量比)」	0.12~0.14	107~125

※1 ニッペファインシリコンフレッシュの硬化剤を高弾性硬化剤に替えるだけで、ニッペ高弾性ファインシリコンフレッシュとして使用することができます。

※2 高弾性硬化剤はつや調整品にも使用できますが、JIS A 6021適性を有するのは、つや有りのみとなります。

●下塗り塗料

塗料名	容量	塗料名	容量
ニッペパーフェクトフィラー	15kg	ニッペファイン浸透シーラー	15kgセット(塗料液/12.5kg 硬化剤/2.5kg)
ニッペパーフェクトサーフ	15kg	ニッペDANタイル中塗	20kg
ハイボンファインプライマーⅡ	16kgセット(塗料液/14.4kg 硬化剤/1.6kg) 4kgセット(塗料液/3.6kg 硬化剤/0.4kg)	ニッペタイルラックEPO-Sベース	20kgセット(塗料液/19.3kg 硬化剤/0.7kg)
ニッペDANフィラーエポ	16kg	ニッペDANエクセル中塗J	18kg

注意  
点

- 本商品は、すぐれた性能を発揮させるために、非常に敏感で強固な反応をするように設計されています。  
水やアルコール類が、塗料液や硬化剤に混入しないようにしてください。  
また、空気中に含まれる水分や湿気とも敏感に反応します。必ず密栓し、冷暗所に保管してください。マスキナーなどの封では不十分です。
- 長期間の保管(6ヶ月以上)は避けてください。また、開栓後はなるべく早く使い切ってください。

注]各ページの各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、種類、素地の状態、気象条件、施工条件などによりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。  
注]塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります) 注]旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。

# ニッペ ファインシリコンフレッシュシリーズ

## ●施工上の注意事項（詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください）

- ・「3~7分つや有り仕上げ」の場合、上塗りの1回目に「つや有り」、2回目に「3~7分つや有り」をご使用ください。
- ・つや消し、及びつや調整品は、はけ、ローラーでの塗装はムラが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
- ・つや消し、及びつや調整品は、塗り継ぎや補修でつやムラが出やすいので、面を切って通しで塗装してください。
- ・過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量を守ってください。
- ・つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、塗り板見本を参考に試し塗りをしてください。
- ・つや調整品は、塗料液が分離しやすいので、よくかきはんしながらご使用ください。
- ・防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。既に繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理してから塗装してください。
- ・被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。
- ・著しい汚染が発生しそうな箇所には、状況に応じてニッペクリスタコートを上塗りコート剤として塗装することで汚染を軽減することができます。
- ・塗装面を部分補修する際には、硬化剤の入れ忘れにご注意ください。汚染むら発生の原因になります。
- ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
- ・所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやかぶり不良をきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率を守ってください。
- ・異なる色相を塗り重ねる場合（例：1回目の上塗りを塗装してから、別な色相でラインや帯などを塗装する場合など）2回目の上塗りが1回目の上塗りを侵してラインや帯などが変色（ブリードにより）する場合がありますのでご注意ください。
- ・硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- ・水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- ・硬化剤は湿気硬化しますので密栓して貯蔵してください。
- ・塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
- ・塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合（高湿度、結露、降雨など）、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- ・旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなっておく必要があります。
- ・既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行なってください。
- ・改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認の上、塗装仕様をご検討ください。
- ・風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
- ・蓄熱されやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など）を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階で既に旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れが

- さらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることによって、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄りの営業所などにご相談ください。
- ・素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下（ケット科学社製CH-2型で測定した場合）、または5%以下（ケット科学社製Hi500シリーズ：コンクリートレンジで測定した場合）の条件で塗装してください。
- ・表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイトランスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ・ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材（ニッペセメントフィラー、ニッペファイラー200）などで処理してください。（合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。）
- ・新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- ・塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ・塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。
- ・屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- ・塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行ない、火気厳禁にしてください。
- ・飛散防止のため必ず養生を行なってください。
- ・シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行なう場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行なうものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行なってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすることで、汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- ・塗料は内容物が均一になるようによくかき混ぜてください。薄めすぎは隠れ力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- ・上塗りに冴えたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。
- ・調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
- ・濃彩色や冴えた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性がある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するよう個所に使用する場合は、ファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装してください。
- ・大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の条件を同一にしてください。
- ・汚れ、傷などにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の塗装条件を同一にしてください。
- ・可塑剤が多く含まれる塩ビシート、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。
- ・また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- ・表面に特殊セラミック処理・特殊ガラスコート処理、フッ素コート処理、はく水処理、光触媒処理などの特殊な処理を施した素材には、塗料が付着しない場合や、塗膜に不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。やむを得ず行う必要がある場合には、最寄りの営業所にご相談ください。
- ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。

## 安全衛生上の注意事項（ニッペファインシリコンフレッシュホワイト塗料液）

横倒禁止

- ・本来の用途以外に使用しないでください。
  - ・使用前に取扱説明書を理解して、取り扱いしてください。
  - ・熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。一禁煙です。
  - ・容器を密閉してください。
  - ・容器および受器を接地してください。
  - ・防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
  - ・火花を発生しない工具を使用してください。
  - ・粉じん/ガス/蒸気/スプレー等を吸入しないでください。
  - ・屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
  - ・必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
  - ・取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行なってください。
  - ・適切な保護手袋/防毒マスクまたは防じんマスク/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用してください。
  - ・必要に応じて個人用保護具を使用してください。
  - ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
  - ・飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
  - ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
  - ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
  - ・皮膚や髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。皮膚を流水でシャワーで洗ってください。
- ※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。  
□詳細な内容、表示例以外の商品については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。  
□本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

- ・皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。
- ・取り扱った後、手を洗ってください。
- ・皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
- ・直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください/取り除いてください。再使用の場合には洗濯してください。
- ・粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
- ・暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
- ・緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
- ・火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- ・水を消火に使用しない。
- ・容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
- ・よくふくらし、5℃~40℃の屋内で貯蔵してください。
- ・日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。
- ・50℃以上の温度に暴露しないでください。
- ・旋錠して子供の手の届かないところに保管してください。
- ・直射日光や水濡れは厳禁です。
- ・塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
- ・日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。
- ・内容物/容器を廃棄する時には、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- ・塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。
- ・容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

### 危険

### 危険有害性情報



引火性液体および蒸気/皮膚刺激/強い眼刺激/発がんのおそれの疑い/生殖能力または胎児への悪影響のおそれ/呼吸刺激を起こすおそれ、または、眠気やめまいのおそれ/長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害のおそれ/水生生物に非常に強い毒性(急性)/長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

## 日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎ 03-3740-1120

☎ 06-6455-9113

<http://www.nipponpaint.co.jp/>

- 当社は2013年11月現在、ISO14001を全事業所で認証取得しております。
- このカタログは、再生紙を使用しています。

- 本カタログの内容については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の商品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- 「ファインシリコンフレッシュ」登録第4799904号は、日本ペイント株式会社が権利者の登録商標です。
- ©Copyright 2013 NIPPON PAINT Co.,Ltd All rights reserved.

カタログNo.

NP-R122

NB131108T  
2013年11月現在